

2017年度GSK医学教育事業助成の概要

学会名

日本肝臓学会

正式名称

肝疾患医療の推進に向けた研修プログラム

医学教育事業の概要

40歳以下の若手医師を対象とする実臨床上の重要テーマについての interactive 研修会の実施と e-learning 教材作成
肝疾患に係る医師以外に対する医療従事者研修会の実施と e-learning 教材作成

医学教育事業の対象者

主な医療関係者：医師、薬剤師、看護師、その他（管理栄養士、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー 等）
対象となる医療関係者の想定人数：医師：約2,100人/年、医療従事者：2,200人/年

医学教育事業の必要性

日本肝臓学会では毎年学術集会を開催しているがこれは研究発表の場であり、肝臓病学を志す若手医師のレベル向上を目指した包括的な教育プログラムを十分に提供できていない。従って学会などで取り上げられる機会が少ないテーマを設定し、若年会員を対象とした interactive な研修会が必要である。また、厚生労働省は各都道府県に肝炎医療コーディネーターの設置を依頼しており、各都道府県は肝疾患診療連携拠点病院と連携し資格獲得ないし能力向上のための研修会を実施しているものの、研修内容は未整備でありフォローアップも不十分であるため、学会が研修会開催を支援し、肝炎医療コーディネーターの継続的な技能向上を図ることが必要である。

医学教育事業の目的

上記の unmet needs を満たすため、「若手医師を対象とした School of Hepatology Japan」と、「肝炎医療コーディネーターを対象とした研修会」を開催する。前者は若手医師を対象とし、実臨床において重要なテーマについて interactive な研修会を行い、参加者の知識・技術の向上を図る。さらに、研修会の内容をウェブ配信して参加できなかった医師の e-learning を促す。これらを通じて日常臨床における肝疾患に対する医療水準の向上・均等化を図る。後者では、医師以外の医療従事者を対象とした研修会や情報交換会の開催を支援し、文書やインターネットを活用した情報の提供を行うことにより、日本における肝炎診療体制を効果的に運用し、肝疾患患者の健康に資することを目的とする。

医学教育事業の計画・方法等

(1) School of Hepatology Japan

- ・形式：1泊2日の研修会
- ・対象：原則40歳以下の日本肝臓学会員（内容や応募状況によっては co-medical も参加可能）
- ・テーマ：学会評議員に対し公募を行い決定
- ・研修会の内容：講演、分科会、ワークショップ（ディスカッションや発表）、ハンズオンセミナー
*テーマを決定する上で、一方向的な講義だけではなく、一般参加者と faculty とが interactive に意見交換し交流することを重視する。また、この研修会あるいは後述する e-learning 教材の理解が専門医資格取得の上でインセンティブとなるような仕組みを設ける。

(2) 肝疾患に係る医師以外に対する医療従事者研修会

- ・形式：日帰り研修会
- ・対象：看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー、その他の保健医療関係職種、都道府県や市町村の職員（保健師など）、民間の企業や団体の健康管理担当者（産業医、衛生管理者など）
- ・テーマ：①期待される役割、心構え、②肝疾患の基本的な知識、③各都道府県の肝炎対策、④地域の肝疾患診療連携体制、⑤肝炎医療コーディネーターの活動事例
- ・参加人員：200/5カ所
- ・研修会の内容：講演、分科会、ワークショップ

以上（1）、（2）のいずれについても研修会における講演、分科会、ワークショップについて動画撮影を行い、ウェブ配信を行って、参加できなかった会員の e-learning 教材として提供する。さらに、ウェブを利用したテストやアンケート調査などを活用し、研修会の教育効果をそれぞれ継続的に測定する。

医学教育事業の成果に対する情報共有について

以上の研修会、e-learning から構成される「School of Hepatology Japan」及び「肝炎医療コーディネーターを対象とした研修会」の教育効果をGSK社および他学会と情報共有する。